

みぶりん だより

2019年1月号 Vol.53

壬生町民活動支援センター「みぶりん」

■開館時間

火～金 10時～18時

土・日・祝 10時～17時

(火～金は予約をして頂ければ21時まで利用可能です)

■休館日

月曜日・年末・年始

〒321-0214 壬生町大字壬生甲 3843-1(保健福祉センター内) HP URL

電話 0282-21-8731 FAX 0282-21-8732

Mail: miburin@bz04.plala.or.jp

<http://www.town-mibu.com/miburin/>

★メールアドレスを覚えて頂ければ、毎月

みぶりんだより(カラー版 PDF)をメールでお送りします。



あけましておめでとうございます



謹んで新春のお慶びを申し上げます

お陰様でみぶりんも5周年を迎えることができました、これもひとえに皆様のご支援とご協力の賜物とスタッフ一同感謝申し上げます。

本年は、皆様と協働のまちづくりを更に推進していきたいと考えております。それには皆様のご意見を伺いながら、みぶりんの機能充実を図ることが大切であると考えております。また、本年は利用者協議会が設立される予定となっており、みぶりと連携をとることにより新たな展開が期待されています。

これからも、皆様に喜んでもらえるみぶりんとなるよう努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

センター長 玉田英二

みぶりん体験講座 募集

体験 その1

和紙を使った 「お雛様作り体験」をしましょう

日時▶ 2月16日(土) 午後1時30分～3時30分

場所▶ 保健福祉センター2階ボランティア室

参加費▶ 1,500円(材料代・当日徴収)

講師▶ きりちゃん工房 桐林様

定員▶ 8名程度



体験 その2

バルーンアート・初心者向け 簡単なもので作り方のコツを教えます!!

バルーンアートを作りたい方! 親子参加でもOK!

日時▶ 2月17日(日) 午後1時30分～3時30分

場所▶ 保健福祉センター2階ボランティア室

参加費▶ 200円(材料代・当日徴収)

講師▶ かたつむりバルーン 鈴村様

定員▶ 15名程度



申込み▶ 町民活動支援センターみぶりん ☎0282-21-8731 両講座とも定員になり次第締め切ります。

みぶりん開設5周年記念 第10回みぶりん活動発表会

テーマ：中高校生の地域活動と学校・地域の連携・協働

中高校生のボランティア活動や社会教育事業を通して、学校と連携・協働している団体・個人の方に発表して頂きます。

◆日時 2月24日(日) 10:00～12:30(予定) ◆会場 保健福祉センター会議室 ◆参加費 一人100円

★発表内容

①藤井かんぴょう音頭保存会

②地域の子どもたちと大人の連携・協働活動(教育委員会生涯学習課)

I ふ.る.る Mibu(中学生及び青少年地域活動参画推進事業)

II 放課後子ども教室事業

③壬生町立図書館

④シルバー大学校同窓会壬生支部(藤井小・放課後子ども教室のボランティア)

⑤安塚五段囃子保存会

「蕎麦コーナー」あります。
ご利用ください。(12時半～)

◆パネル出展団体・個人募集中

活動内容を展示(説明)していただきます。

◆交流会 参加自由※発表者も参加します。

◆申込・問合せ みぶりんまで

おもちゃのまち駅西口花壇にイルミネーション点灯!



去年より更に豪華になった
イルミネーションを、
ぜひご覧になってください!

2月末まで、
16:00 から 24:00 の間、
点灯しています。
癒されますよ(^^)

目次

- ② 職業人との交流会 (南犬飼中学校)
- みぶっ子まちなかストリート開催
- ③ 上稲葉ふれあいレクリエーション大会 (上稲葉連合会)
- 通学路ブロック塀撤去 (YKC会)
- 施設でギター弾き語り&ベリーダンス (スーさん&スルー)
- ④ 施設にてマジック (栃木県マジックホップの会)
- 親子でウォーク in 黒川/「川は友達」講演会 (川の日を国民の祝日にしよう会)
- ⑤ ～世代間交流特集～その2
- ① 幸町二丁目自治会 ② 六美町北部自治会「むつみの郷」
- ③ 安塚中央自治会・育成会
- 自分史を書いてみませんか (坂井正勝氏)
- ⑥ 利用者協議会意見書まとめ

活動報告

職業人との交流会 南犬飼中学校

12月7日、南犬飼中学校で「職業人との交流会」が行われました。

生徒たちは8つの教室に分かれ、各職業の方の話を熱心に聞き、メモを取っていました。

「仕事の内容」「なぜその職業に就いたのか」「どんな勉強をすれば良いか」「楽しいこと」「大変なこと」等々。

生徒たちは各自わからないことは質問し、将来の参考になったと思います。

(取材担当 鈴木)



農業
早乙女春香様



看護師
小松富恵様



パティシエ
岡田裕司様



銀行員
板橋千夏様



消防士
田村祐也様



美容師
関根志乃様



自動車整備士
大橋理和様



保育士
五月女奈津子様・岩田育子様

みぶっ子まちなかストリート開催

11月11日、「みぶっ子まちなかストリート」が開催され、わたしは参加者として、とても楽しい経験をしました。わたしは、ポップコーンのお店をやりました。

みぶっ子まちなかストリートは、子どもたちがお店を出して、一日店員や店長を体験するイベントです。子どもたちが出すお店は、一丁目から四丁目まであって、一丁目はフード・ドリンクのコーナー、二丁目は子供が手伝う大人のお店、三丁目は「ひとはこマーケット（フリーマーケット）」、四丁目は、ワークショップ、射的のコーナーでした。わたしは今年、店員をやったので、来年は店長をやりたいです。

みぶっ子まちなかストリートは、店員や店長をやるととても楽しいので、興味がある方は来年ぜひ店長や店員として参加してください。

(参加者 安塚小学校5年 ゆづき 大林柚月さん 記)

※みぶっ子まちなかストリートは、実行委員会に入ってくださいる大人の方を募集しています。子ども達と一緒に楽しみながら、子ども達の作り上げる姿を応援してみませんか。

◆連絡先 事務局／富居まで ☎090-4002-6311



活動報告

上稲葉ふれあいレクリエーション大会 上稲葉連合会

上稲葉連合会（上町・下町・下馬木自治会）では、11月4日、稲葉小学校体育館において、今年で5回目となる「上稲葉ふれあいレクリエーション大会」を開催いたしました。

当日は、3自治会の会員約210人が参加され、今年もラジオ体操インストラクターの柴崎享子講師をお招きし、ラジオ体操や健康体操の効果などを聞いた後、参加者全員で紅白玉入れ、風船リレーやビンゴゲームなどで汗を流しました。

普段、なかなか接する機会が少ない子どもからお年寄りまで、自治会の垣根を越えて楽しいひと時を過ごしました。

（会員 神永一三 記）



通学路ブロック塀撤去 YKC会

12月8日、「北小林自治会自主防災会（YKC会）（山井勲会長）」で、通学路にある倒壊の恐れがあるブロック塀の撤去作業が行われました。

育成会などで「危険」と言われていたブロック塀で、「倒れてからでは『防災』にならない」との会長の言葉のもと、約15人のメンバーで手際よく作業は行われました。（取材担当 鈴木）



施設でギター弾き語り&ベリーダンス スーさん&スルール

12月1日、小規模特別養護老人ホーム「みぶ例幣使」で、魂のフォークシンガー「スーさん」のギター弾き語りと「スルール」のベリーダンスが行われました。

スーさんは変わらず迫力ある歌声で、施設利用者の方もギターに合わせて楽しそうに口ずさんでいました。今回はベリーダンスのグループ「スルール」とのコラボで、施設職員やお子さんも一緒に踊り、大盛り上がりでした。（取材担当 鈴木）



魂のフォークシンガー「スーさん」



ベリーダンス「スルール」

みぶ例幣使では、1階のデイサービスホールを、日曜日、地域の皆様との交流等を目的に、1団体1時間200円で貸し出します。備え付けのカラオケ設備も使用できます。詳細は、みぶ例幣使 荒川 ☎0282-81-2800 まで、お問い合わせください。

新規登録団体・個人(11/21~12/20)

みぶりんでは、団体・個人の登録を随時受け付けています。

登録No.	名称	活動内容
団体265	壬生植物同好会	壬生町内及び県内外で、春から秋に毎月一回以上、野生植物観察会を行うことが目標。



施設にてマジック 栃木県マジックホップの会

12月11日、ショートステイみぶの杜で、お誕生日会が開催されました。最初に、皆が知っている歌を利用者の方と数曲歌いました。その後、お待ちかねの「栃木県マジックホップの会（ばひろし会長）」のマジックショー。今回は4名で交替で披露していただきました。ロープ、スカーフ等を使ったマジックを軽快な曲に合わせ、時にはスタッフの皆さんも参加し、皆で楽しい時間を過ごしました。それからお誕生日の利用者へハッピーバースデーを全員で歌い、プレゼントを渡し、その後は、おやつタイム。とても楽しいひと時でした。（取材担当 小田垣）



川の日を国民の祝日にしよう会

第二回 親子でウォーク in 黒川 11月18日開催

「川の大切さ」

壬生町には、黒川、思川、姿川が流れています。このうちの黒川で、「親子でウォーク in 黒川」が開催され、父と参加してきました。ウォーキングの途中で歴史民俗資料館に行きましたが、「昔は川を中心とした暮らし、文化が栄えていた。」という説明をしていただくなど、川にまつわることについて細かく教えていただきました。また、川が流れていることで物資が行き来しやすく、古墳がたくさんあることなど、壬生町の歴史についても説明してくれました。僕は、この体験を通して、改めて川は人間にとって必要であり、大切なものだと感じました。

（参加者 睦小学校6年 桑原良輔さん 記）



第二回「川は友達」講演会

12月2日開催

「黒川の恵み」

「川の日を国民の祝日にしよう会」主催による、五行川「鮭守の会」専務理事・柳田耕太氏（大前神社宮司）の講演を聴きました。同会は、真岡市を流れる五行川を中心に鮭の保護や河川環境の整備等の活動をしている団体で、講演を通して「自然との共生」の大切さを学びました。

さて、壬生には町のシンボルとなっている黒川が北から南に貫流し、幅広く町民に親しまれています。「壬生町民の歌」には「桜木を川面にうつし黒川の流れゆたかに」と歌われ、小中高校の校歌にも登場します。

歴史をみると、黒川は時として洪水を起こし人々を苦しめましたが、反面、その恵みを受けることのほうがはるかに多かったのです。江戸時代には生活・農業用水として利用されただけでなく、上河岸から下河岸まで五つの河岸が設けられ、近隣からの物資を江戸まで運ぶ河川交通路としても重要でした。

明治時代以降も黒川の恵みを受けてきましたが、第二次大戦後、町民の脳裏から少し離れてしまった時期がありました。学校にプールができて、魚とりや水遊びに明け暮れた子供達の元気な姿が河川敷から消えてしまったことも一因と思われます。

しかし、河川改修工事が進み、現在は新たな役割を黒川が担っています。戦後間もなく、青年団の手によって兩岸の土手に植えられたソメイヨシノが成長し、花見には絶好の場となっています。東雲さくら橋から眺める男体山とマッチした景観も抜群です。

また、東雲公園では一年を通じて様々なイベントが開かれ大勢で賑います。朝夕にはウォーキングやサイクリングをする姿も目立つようになりました。黒川は人々の交流の場、潤いと安らぎを与える憩いの場としてよみがえったのです。

こうした黒川の恵みに応えるためには、「自然との共生」の立場から、黒川を大切にし、その愛護に努めなければなりません。その意味で、川の恵みに感謝し、その大切さを訴える「川の日を国民の祝日にしよう会」が壬生に誕生したのはとても意義深いことです。同会の活動が更に理解され、大きく広がることを望みます。

（講演会参加者 藍田收様 記）

■ 世代間交流特集② ※①は先月号

11月23日、町内児童公園において、災害発生時に必要となる活動の一つとして炊き出し訓練を実施しました。今回初めての試みなので、役員、班長、防災推進委員それに緊急時協力隊のメンバーを対象に、また、育成会にも声掛けし、小中学生の10数名にも参加してもらいました。

炊き出しの料理は里芋の豚汁と焼きそばでしたが、いざという時の訓練が主体でしたので、味は二の次とし、かまどの作り方、火のおこし方、具材の切り出し方を考えて訓練をしました。それでも町内に商売のお店屋さんもありますので、味は確かなものになり、集まった100人近くの住民が大いに楽しんでくれました。

楽しみながら防災訓練ができ、また世代間の交流がはかれた一日でした。
(防災部 中野金次郎様 記)



芋煮祭 世代間交流★むつみの郷

11月23日、六美町北部自治会・むつみの郷にて、お達者サロンと育成会合同の世代間交流会が行われました。

当日は児童約30人を含む80人ほどが集まり、大賑わいでした。

開会式の後、上映会、フクロウの観察会、お昼ごろに芋煮などをいただき一休み。おけだま（この地域の遊び）、おりがみ、オセロ、将棋など、年齢に関わらず一緒に遊び、子供達、保護者、サロン参加者も楽しい時間を過ごしました。

外遊びに駆け回る児童を眺めながら美味しい芋煮などをいただくのがとても趣深く、お天気にも恵まれて暖かなほのぼのとした時間が流れました。
(取材担当 坂本)



安塚中央自治会（橋本秀次会長）と子供育成会（大美賀友幸会長）の「いきいきふれあい祭り」が12月9日、安塚地区コミュニティセンターで開催されました。

時折暖かな日差しが顔を出す会場は、家族連れや育成会の子もたちなど約200人の人たちで賑わいました。10回目を迎えた今年は、餅つき大会、琉球太鼓、昔遊びやゲームなど盛りだくさんの内容でした。安塚中央銀の会（井上貞行会長）の皆さんも餅つきやトン汁などを担当し、自治会挙げてのイベントとなりました。また、昔遊びコーナーではシルバー大学校同窓会壬生支部（荻原二三雄支部長）の皆さんが協力し、ベーゴマ、お手玉、輪投げ、けん玉などを子どもたちと一緒に遊んでいました。子どもたちは初めて経験した遊びもありましたがとても楽しんでいました。
(取材担当 玉田)



活動紹介

自分史を書いてみませんか！

自分史活用アドバイザー・精神保健福祉士
坂井正勝

◆「自分史」という言葉をご存知ですか？

自分の過去から現在までの歴史を綴ったものです。 生い立ちから現在までの半生記を綴ったもの、一部の貴重な体験だけを綴ったもの、随筆のように様々な思いを綴ったもの等、様々なスタイルがあります。表現の仕方も、文章で小説風に綴ったもの、年表スタイルのもの、履歴書風のものなど様々です。

◆自分史を作ると、こんなことに気づきます。

自分史を作ると、自分の過去の出来事や体験を通して、**自分のありのままの姿を知ることができます。自分の良い所やすばらしい所に気づくのです。** 大変つらい出来事だったと思っていた事柄が、自分史として振り返ってみると、きちんとした意味があったのだと気づくことも多いのです。また、過去から現在までの自分を知ることで、**その後の人生に、はっきりとした目標や希望を持つことができるようになります。**

★私が、皆様が自分史を書くお手伝いをします。→書けない人には代行で作成します。書ける人には書き方の指導をします。

一切、費用はかかりません。まずは気軽に連絡ください。

連絡先：坂井正勝 携帯 080-6726-8910、または「みぶりん」 ☎0282-21-8731

「利用者協議会（仮称）規約（案）及び分野別区分（案）」に対する意見への考え方について

みぶりんでは、登録団体等の親睦と交流を図るとともに「みぶりん」の事業運営の機能充実を図るために、2019年に利用者協議会（仮称）を設置する予定となっております。

利用者協議会（仮称）設立準備会では、「利用者協議会（仮称）規約（案）及び分野別区分（案）」の素案を公表し、意見募集を実施しましたので、その結果と提出された意見に対する考え方を公表いたします。

1. 実施期間 2018年11月5日～11月25日

2. 実施方法及び場所

- ・登録団体・個人へ郵送
- ・みぶりんホームページ
- ・みぶりん窓口

3. 意見提出者（意見数）3名（5件）

内訳 右の表の通り

4. ご意見の内容と考え方

以下のとおり

提出方法	提出人数 (人)	意見数 (件)
直接持参	2	2
電子メール	1	3
ファックス	0	0
郵便	0	0
合計	3	5



I. 「利用者協議会（仮称）規約（案）」に関する意見の概要と考え方

ご意見の内容	設立準備会の考え（回答）
町民活動支援センターの役割 ①相談事業②活動場所・事務機器の提供③情報収集と提供④交流の促進⑤広報・研修 以上がみぶりんの役割となっております。 よって、壬生町町民活動支援センター利用者協議会何故必要性なのか、疑問です。	ご意見ありがとうございました。 みぶりんは、活動発表会や講演会、講座の開催、お達者サロンや自治会などへ登録団体等を派遣するなど、活躍の場の提供や活動の支援、広報紙等により情報提供を積極的に行って参りました。 みぶりんの役割はこれらの支援のほか、様々な分野の登録団体等が連携・協力することにより、これまでにない新たな魅力あるイベント等を実現できるようにすることであると考えています。 登録団体等の活躍の場を広げ、登録団体等が自立した活動を展開できるようにするためには、登録団体等の声を重視するとともに専門的な意見を求め、みぶりんの機能充実を図って行くことが大切であると考えております。 このような趣旨で、登録団体等による連絡調整の場として、利用者協議会を設置することといたしましたので、ご理解ください。
規約中第3条 略 みぶりと連携を図り壬生町のまちづくり活動の推進に寄与することを目的とする。 上記の表記は理解できません。	ご意見ありがとうございました。 いただきましたご意見につきましては、貴重な意見として、今後の取組の参考とさせていただきます。
第4条 略 次に掲げる事業を行う。(1)登録団体等の親睦や交流を推進するための企画及び運営を行う。(2)みぶりんの運営や事業への協力及び支援を行う。(3)情報の収集、提供、交換を行う。(4)その他目的達成に必要なこと。 は非常に問題と考えます。	利用者協議会（仮称）は、目的を達成するために、登録団体等の自主的な活動や、みぶりと連携をとり、壬生町のまちづくりを協働で推進していく内容としていますので、ご理解ください。
これまでの5年間の成果の上に立って、第3条、第4条の目的を持って、協議会を設立することは、大きな前進であると思います。 「ボランティアの育成」を是非1項入れていただきたいと思います。現在活動中のボランティアの高齢化の現状は切実でもあり、今後の会の発展のために取り組みがあると良いと思います。	ご意見ありがとうございました。 いただきましたご意見につきましては、貴重な意見として、今後の取組の参考とさせていただきます。

II. 「分野別区分（案）」に関する意見の概要と考え方

ご意見の内容	設立準備会の考え（回答）
団体・個人ともに、活動内容の分かる一覧表にしてください。（相互に利用し易い）	ご意見ありがとうございました。 登録団体・個人の名称等については、登録申請を基に作成されています。 今後は、活動内容も表示していけるよう登録団体・個人の方々に協力をお願いして参りたいと考えておりますので、ご理解ください。

☆「みぶりんだより」は下記のところに置いています☆

みぶりん・壬生町役場・各出張所・各コミュニティセンター・各公民館・生涯学習館・図書館・歴史民俗資料館・体育館・みらい館・おもちゃ博物館・嘉陽が丘ふれあい広場・ふれあい交流館・シルバー人材センター・各小中学校・壬生高校

【編集後記】 ■みぶりんの西側を流れる恵川には、カモやカイツブリ、サギ、鯉などが生息しており、その脇の道路を南に向かっていくと朝夕は富士山が良く見えます。この自然を次の世代まで残してあげられるよう、今年は環境の保全にも関わって行きたいと考えております。（玉田） ■4年前に始めた花のボランティアですが、最近やっといくつかの花を覚えてきました。少しでも壬生の町の中を癒されるような場所にできれば、と思います。（鈴木） ■二男と「サイエンスショー」を観に行ってきました。内容も楽しめましたし、宇宙食も買ったりして、いい経験ができました。（小田垣） ■2004年のビッグフィッシュという映画をご存知ですか？年末年始の休暇、家族が集まったときにぜひ見て欲しい美しい素敵な映画です。こう書いている間に思い出し泣きしそうです。騙されたと思って見てください。（坂本）